

器(84)光輝尽性蛍光板 JMDN 70038000
一般医療機器**光輝尽性蛍光板(デンタルイメージングプレート)****【形状、構造及び原理等】**

1. 形状、構造

支持体に光輝尽性蛍光体を塗布したシート状のプレートです。
一部の光輝尽性蛍光板はプレートがホルダーに組み込まれています。

2. 原理

光輝尽性蛍光板中の光輝尽性蛍光体にX線が照射されると、光輝尽性蛍光体はX線のエネルギーを吸収します。コンピュータドラジオグラフィ装置のレーザー光によって光輝尽性蛍光体に蓄積されているX線画像データを読み取ります。

【使用目的又は効果】

X線エネルギーを蓄え、レーザー光を当てると蓄えたエネルギーに相当する蛍光を発生する蛍光板である。通常、コンピュータドラジオグラフィと併用する。

【使用方法等】

光輝尽性蛍光板を、X線撮影を行った後、コンピュータドラジオグラフィ装置でX線画像データを読み取る。

詳細はコンピュータドラジオグラフィ装置の取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

- 光輝尽性蛍光板は水等がかからない場所で使用すること。
- 光輝尽性蛍光板に湿気、水分を付着させないように注意すること。
- 光輝尽性蛍光板の装填/取り出し時に、光輝尽性蛍光板の蛍光面を汚したりすることのないように注意すること。
- 光輝尽性蛍光板の表面に汚れ、ごみ等が付着し、クリーニングをしなければならぬ場合は、次の注意を守り、クリーニングすること。
注意: 直射日光のあたらない場所で行うこと。
注意: 表面や端をキズつけないよう注意すること。
① 光輝尽性蛍光板をパウチまたはカセットから取り出します。
② 乾いたやわらかいきれいな布で光輝尽性蛍光板を拭きます。マイナスイオン濃度のアーチファクトの多くは、ほこりが付着することで発生します。通常、そっと拭き取るだけで十分です。
③ 乾いた布で汚れが落ちない場合は、ケアストリームスクリーナーを使用して以下の手順でクリーニングします。
注意: イソプロピルアルコールやイソプロピルアルコールが入ったスクリーナーは、使用しないでください。
注意: 界面活性剤も使用しないでください。
注意: 光輝尽性蛍光板の表面に直接スクリーナー類をつけないこと。
注意: クリーニング方法にかかわらず、湿った布は使用しないこと。
注意: 水で湿らせ汚れを拭き取ることは絶対にしないこと。
注意: 光輝尽性蛍光板を押さえつけたり、擦り過ぎたりしないこと。
④ リントフリーのクロスなどやわらかいきれいな小さい布にクリーニング剤を少しつけます。
⑤ この布で汚れを拭き取ります。クリーニング後、乾いたやわらかいきれいな布で光輝尽性蛍光板を拭きます。
- 消毒する際は、5%の次亜塩素酸ナトリウム溶液を本溶液1に対し水を10の割合で希釈した溶液を作成します。それをリントフリーのクロスなどやわらかいきれいな小さい布にクリーニング剤を少しつけ、消毒を行ってください。溶液に浸すことは絶対にしないでください。
- 光輝尽性蛍光板は落下させたり、折り曲げたり、強い衝撃を与えたりすると変形、破損することがありますので、丁寧に取扱うこと。
- 光輝尽性蛍光板を使用していない時は、パウチ、カセットまたは専用ケースに入れ、暗い所で保管すること。

詳細はコンピュータドラジオグラフィ装置の取扱説明書を参照してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

直射日光や紫外線があたる場所、各種放射線等があたる場所や高温高湿の場所を避けて保管してください。
使用後の光輝尽性蛍光板は、パウチまたはカセットに入れ、暗い所で保管してください。

2. 有効期間

有効期間はクリーニングを行った上で、キズ、折れ、変形、汚れ、変色や感度低下、密着性、遮光性の低下、外部の損傷により、診断画像の劣化をきたすまでとし、このような場合には、新品と交換してください。

【保守・点検に係る事項】

- 医療機器の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
- 使用者による日常及び定期点検を必ず行ってください。
- 機器の廃棄
廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

保守点検の内容はコンピュータドラジオグラフィ装置の取扱説明書を参照してください。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者名: ケアストリームヘルス株式会社
電 話: 03-5646-2500(代)

製造業者名: レイコー上海
Rayco (Shanghai) Medical Products Company
Limited
中華人民共和国